

實性寺 表千家茶道

1

月 稽古 令和四年

初釜ではなく初稽古として

【寄付】

寅嵯峨面

寅伏見人形

福寿草

掛物 鶯春入千林

受付



1月稽古

【本席】



本席



掛物 鶯春入千林

受付



1月稽古

【掛物】

「鶯春入千林」而妙齋宗筆

前二

長熨斗

小槌熨斗押さえ紫交趾永樂作

丸三宝 惺齋判

青竹

「結び柳」「加茂本阿弥」「曙」

伏見焼「寅」干支帛紗敷きて

霞丸釜「姪志作」

こぼれ梅ノ絵 席主絵

引舟腰屏風 宗完宗匠

風炉先 席主好独楽ツナギ緑釉吉向作

渦火箸||淨益作

「皆具」大福 信楽 而妙齋箱||直方作

「茶入」切箔 而妙齋好

「茶碗」白楽||惺入作

「棚」高麗台子

「茶杓」即中斎好 嶋台 而妙齋箱

「茶杓」而妙齋作 銘「丹頂」

「菓子器」富士絵

「茶」猶有齋好「樂壽の昔」柳桜園

「茶入」富士絵 朱丸 松孤軒画

「茶」富士絵 朱丸 松孤軒画

「茶碗」雪中の松||とらや製茶

「茶杓」出帛紗 寅綬 紹巴||友湖作

「菓子器」富士絵

茶碗 白楽

茶碗 嶋台

茶杓 丹頂

菓子器 富士絵

炭点前

重茶碗の点前

《客二名にて一服ずつ》

客 茶碗の返し方

飾り火箸のあつかい

炭台の点前

灰器のあつかい

【炭点前】

香合 伏見焼「寅」

香合

伏見焼

「寅」

炭台

羽根

金敷

灰器

伊曾嶋焼

宗心宗匠箱

檀紙

灰さじ

南鐸



香合 伏見焼 寅



茶碗 九谷



茶碗 寅の絵



干菓子器 松喰鶴



茶碗 朝日



茶杓 若狭井



茶碗 唐津



茶器 四薰子

【薄茶】

四薰子||永樂即全作

寅の字 朝日||豊齋作

寅の字唐津||守俊作

寅の絵 九谷||永壽作

修二会ノ竹ヲモツテ 銘「若狭井」宗完宗匠

「茶杓」干支||伊織製

「干菓子器」尋牛齊宗匠箱青海盆 松喰鶴

「茶」茶 干菓子

猶有齋好「清友の白」柳桜園

